

思い出の一枚の写真

胸に残るあのワンシーン

土川美和子 3 段

(ドラゴン)



前列左から 2 番目が筆者

一番思い出深く楽しかったカナダ遠征

この写真は、1989年10月頃、私が筑波大学2年生の時に、地元である愛知県から代表として選ばれ、西カナダオープンに出場するためカナダに遠征に行ったときのものです。

私は海外に行ったのはそれまでなく、何から何まで新鮮で、「今まで外国で一番良かった所」は、と聞かれたら即答で「カナダ」と言えるほど、思い出深く楽しかった遠征でした。このメンバーは岡山で開催される団体戦では「不動のメンバー」と言われ、メンバー的にも優勝候補に挙げられたりしていましたが、あまり良い成績は得られませんでした。

しかし、平成6年に愛知県で開催された第49回国民体育大会に、選手・補欠・コーチと、それぞれ名前

は違いますが出場し、なんとか優勝することができました。これは皆の力で勝ち取ったものだと思いますが、うれしかったと言うよりも、多分みんなホッとしたと思います。特に、大石・杉村は後輩ですが、大学も同じで二人が頑張っているから、私も励まされ、精神的にも大きな支えになりました。

この遠征後、全日本柔道連盟の方から、海外の大会に出場させていただき、よい経験ができたと思っています。

いろいろなチャンス、応援、指導して下さった先生方にはとても感謝しています。

今度は私たちが次の有望選手を育て、海外に連れて行けるようにな

つちかわ・みわこ



昭和44年6月5日、愛知県名古屋出身。市邨学園高蔵中→桜丘高→筑波大入学。平成4年卒業後、コマツに入社。1年後、憐ドラゴンに入社、現在に至る。平成3年、全日本女子体重別56kg級で2位、同年、大太平洋選手権3位。平成6年、ハンガリー国際52kg級2位。同年10月の地元のわかしゃち国体で先鋒として出場し、見事、国体初優勝の原動力となる。

ればと思っています。カナダと一緒にいったこのメンバーは、今でも良い仲間です。